

アートで伝える 考える 福島は今、未来展

in FUKUSHIMA

×

FUREアーカイブ事業成果展

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、2012年から福島県立博物館が福島県内の文化施設、大学、NPO等と行っているアートプロジェクトです。

福島県の文化や自然の豊かさの再発見と、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故以降に福島がおかれた状況の文化的アプローチによる共有と発信を目的としています。

近年は、これまでの活動成果を通じた発信の重要性を捉え、過去・現在・未来の福島を伝え、福島が抱えた課題を広く日本の問題として共有しようとする「はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト成果展」を各地で開催しています。今年度第2回となる成果展を、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター(通称FURE)との協働により、福島大学で3期にわたり開催いたします。

FUREは、2011年より大地震・津波による大災害と放射能汚染によって避難を余儀なくされた福島の被災者と被災地域の復旧・復興にさまざまな角度から取り組んでいます。震災遺産の保全、アーカイブも活動の一つです。第2期、第3期にはその成果もあわせて展示し、アートと震災遺産、双方の視点の交錯により、新たな対話が生まれ、福島の未来を探す場とします。この機会にどうぞご来場ください。

はま・なか・あいづ 文化連携プロジェクト

福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま(福島県の太平洋側)、なか(東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部)、あいづ(新潟県に隣接する福島県の山間部)で展開する活動を通して、福島の文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2017年度は、7つのプロジェクトを実施。

詳しくはこちら → hamanakaaizu.jp

福島大学 うつくしまふくしま 未来支援センター (通称「FURE」)

大地震・津波による大災害と放射能汚染によって避難を余儀なくされた福島の被災者と被災地域の復旧・復興の支援をすることを目的に、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故の発生直後、2011年4月に設立。避難地域や避難者の方々への支援と地域復興のために、事業を実施している。

詳しくはこちら → <http://fure.net.fukushima-u.ac.jp/>

■ お問い合わせ

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)
tel:0242-28-6000(福島県立博物館代表) *毎週月曜日、祝日の翌日は休業。 fax:0242-28-5986(福島県立博物館内)
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトWebのお問合せフォームもご利用下さい。

■ 会場地図

※自動車でご来場の方は、駐車料金が無料になりますので、お帰りの際に、展示会場で配布している展覧会チラシを出口ゲート手前で係員にご提示下さい。

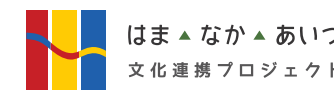
■ 構内図



■ 会場のお問合せ

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

〒960-1296 福島県福島市金谷川1
tel/fax:024-504-2865
e-mail:fure@adb.fukushima-u.ac.jp



平成29年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2017

アートで伝える 考える 福島は今、未来展

in FUKUSHIMA

×

FUREアーカイブ事業成果展

会 期: **第1期** 2017年 **10月12日**(木)~**29日**(日)

第2期 2017年 **11月15日**(水)~**28日**(火)

第3期 2017年 **12月 9日**(土)~**21日**(木)

時 間: 9:00~21:45(月~金)
10:00~21:00(土)
10:00~17:00(日・祝日)

会 場: **福島大学附属図書館 1階 資料展示エリア**
(〒960-1296 福島県福島市金谷川1)

観覧料: 無料

主 催: はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会
共 催: 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター